

校種	中・高・特中・特高	受験番号	
----	-----------	------	--

⑨ 中学校・高等学校 国語 解答例



(一)			(二)			(三)			(四)			(五)			(六)			(七)			(八)		
④	①		(例) 文の終わりに打ち消し(否定)の表現を伴う、呼応(陳述)の副詞			(例) 暗中模索			(例) 知的理解は経験的			(例) しれば未知の文数字表現があられそ			(例) ひつとこのはなにつか			(例) 学校のこは、未知のうちでも力をもて重要なこと			(例) 教科書の縁が切れ、ほとわかして既に明け暮れる。知るを		
越	蓄積																						
える																							
⑤	②																						
皆目	営為																						
破	厄介																						
る																							
1	1																						
1	1																						
1	1																						

※何も記入しないこと

校種	中・高・特中・特高	受験番号	
----	-----------	------	--

⑨ 中学校・高等学校 国 語 解答例



※ 何も記入しないこと

(一)		(二)		(三)	(四)	(五)	(六)
あ	う	え	か	(例) 作者の乗っている牛車の前に群衆が立ちふさがって、競馬が見えなかったから。	登って、木のまたに、ちょっと尻を据えて見物している法師がいる。	(例) あぶない枝の上で安心して眠っている法師を見た人が、法師は愚か者だと嘲っていることに対して、私たちに死がやってくるのは今すぐであるのかもしれないのに、そのことを忘れて見物して日を暮らすのは、法師よりもはなはだしく愚かであるということ。	(例) 作者の前にいた人々が、「ここへおはいりなさいませ」と言って、場所をあけて呼び入れてくれた。
ラ行変格活用の動詞「侍り」の連用形	強意の助動詞「ぬ」の終止形	向こうにある	愚か者				
1	1	1	1	4	2	6	4

校種	中・高・特中・特高	受験番号	
----	-----------	------	--

⑨ 中学校・高等学校 国語 解答例



(一)		(二)	(三)	(四)	(五)
c	a	燕朋逆其師	ア	開	(例) 牽引せずに指導することによって抵抗せず、抑圧せずに強制することによつて平安な気持ちで、開発するが通達させないことによつて好く思考するよう に導くこと。
おこる	しかる				
d	b				
ず	すなわち				

※何も記入しないこと

11

11

4

3

3

6

20

校種	中・高・特中・特高	受験番号	
----	-----------	------	--

⑨ 中学校・高等学校 国 語 解答例

四

(中学校受験者のみ解答すること)

※ 何も記入しないこと

(一)		(二)		(三)
d	a	(例) 自分の考えが確かな事実や事柄に基づいたものであるかを確かめたうえで、自分の思いや考えを繰り返すだけではなく、根拠を文章の中に記述する必要があることを理解して書くこと。		(例) 学校図書館や地域の図書館、公共施設などを利用して幅広く情報を収集したり、インタビューやアンケートで当事者の声を集めたりすることが考えられる。その中で、想定していなかった情報に出会うなどした場合には、それまでの考えを改めたり別の角度から検討したりすることが重要である。
う	く			
e	b			
す	か			
	c			
	そ			
2	2			
2	2			

校種	中・高・特中・特高	受験番号	
----	-----------	------	--

⑨ 中学校・高等学校 国 語 解答例

五

(高等学校受験者のみ解答すること)

※ 何も記入しないこと

(一)			
d	a		
け	そ	e	b
お	か	c	
		あ	
2	2	2	2
2	2	2	2

(二)	(一)
(例) 古典の普遍的価値や、その作品が古典として現代まで読み継がれてきた意味について考えを深めるとともに、その作品が自らにとってどのような価値をもつのかについて考えることも大切である。	
6	

(三)	(二)
(例) 古典の文章のもつ価値や先人のものの見方、感じ方、考え方について課題を設定し、図書館で参考となる書籍や資料を調べたり現地に出かけて取材したりするなど情報を収集、整理し、共時的、通時的観点から比較して評価し、その成果を口頭で発表したり文章にまとめて報告書などに編集したりする。	
4	